



地域日本語支援ニュース こだま 第 340 号

2018.6.14



★—メールマガジンをお読みいただき、ありがとうございます—★

【地域日本語支援ニュース こだま】は、日本語教育に関する事業を全国で行っている公益社団法人国際日本語普及協会(AJALT)発行のメールマガジンです。各地域で在住外国人に対する日本語・生活支援に携わっている方々に役立つ情報の共有を目指していきます。

====目次=====

1■お知らせ (1) ■

6 月 10 日発刊 機関誌『AJALT』41 号 発行に寄せて

2■お知らせ (2) ■

「2018 年度 日本語教師のための夏の教え方講習会」のお知らせ

3■お知らせ (3) ■

「AJALT 公開講座」のお知らせ

=====

1■お知らせ (1) ■

6 月 10 日発刊！

機関誌『AJALT』41 号 発行に寄せて

編集長 埴 仁礼子

今年も機関誌『AJALT』41 号が 6 月 10 日に発行されました。

「こだま」をご愛読いただいている皆様に、41 号の梗概をご紹介します。

.....

◆巻頭インタビュー 「私とことば/池上 彰」

テレビで雑誌で大学で、八面六臂(はちめんろっぴ)のご活躍の池上彰氏。今回は NHK の駆け出し記者時代から現在に至るまでのお仕事ぶりや日本語に対する思いなど、さまざまなお話を伺いました。

◆特集 「日本語はどこへ行くのか」 The Japanese Language Today

「日本語はどこへ行くのか」とは、何とも茫漠(ぼうばく)たるタイトルですが、41号では日本語の今を切り取り、そこからいろいろな角度で未来を占うことを試みました。以下はそれぞれの記事のあらましです。

現代の言葉の中に過去や未来を浮かび上がらせることは可能でしょうか。未来と過去とを大胆なやり方で繋いでみせ、「未来の日本語は、と予想するために必要なのは、過去の日本語だ」と語る小説家古川日出男氏に、「日本語、三種類の可能性」と題して日本語話者への提言をご寄稿いただきました。

常に今ある価値観に揺さぶりをかけ、マスメディアとは異なる視点で現代を報道する都築響一氏。70～80年代の若者文化を担ってきた氏に、現代の言葉を中心にお話を伺い、「ストリートから夜露死苦(よろしく)」と題してまとめました。

人工知能(AI)が書いた小説が「星新一賞」の一次選考を通過したニュースは記憶に新しいのではないのでしょうか。このプロジェクトの立役者たる名古屋大学の佐藤理史教授に、『コンピュータが小説を書く日』はまだ来ない」と題し、AIが編みだす日本語と文学の可能性についてご寄稿いただきました。

我々は日々ごく当たり前に、ひらがな、カタカナ、漢字、ローマ字を交えて文章を紡いでいますが、外国人には、それらは時に摩訶不思議(まかふしぎ)に映るようです。Christopher Lowy氏による「Inscription and Japanese-language Literature」では、母語話者では気づかない日本語のライティングシステムの特異さを、外国人の目から炙(あぶ)り出し、そこから更なる日本文学の可能性を探りました。

地域で学ぶ学習者は、町で、職場で、学校で、どんな日本語を耳にしているのでしょうか。今や至るところに蔓延している「させていただく」。野口恵子氏には、その拡張使用を巡って敬語を考察し、教える側、学ぶ側の双方から言語的コミュニケーションについて考えた「日本語教師、外国語学習者として思うこと」をご寄稿いただきました。

他、今や国際語となった日本語を追う「海を渡った日本の言葉」や、今流行りのJK(女子高生)言葉を解説した「当世LINE・JK言葉事情」、特集の「どこへ行くのか」に抗い、どこへも行かない日本語を求めて、天邪鬼(あまのじゃく)な編集委員が都内の坂道を逍遥(しょうよう)する「坂道細見記」、AJALT教

師が最近の日本語をどう見ているのかをアンケート形式で調べた「この頃よく聞く巷の日本語」、現代の日本語をさまざまな角度から見つめた書籍を紹介する「日本語のことをもっと知りたい人のためのブックガイド」といった記事を通して、日本語の今に迫ります。

◆その他にもこんな記事が……。

80年代に大和定住促進センターを退所したインドシナ難民の人たちは、日本各地で新たな生活を始めました。その際、地元の人たちが困っている難民の方々を支援し、それが現在まで続く日本語ボランティア教室の原点の一つとなっています。難民の人たちのその後を追った「日本で生きる」では、80年代にラオス・ベトナム・カンボジアから戦火を逃れて来たインドシナ難民の方に現在の生活についてご報告いただきました。

他、おなじみヤマキ先生の「気になる日本語」、「海外日本語教師便りハワイ編」、マレーシアの現場からのレポート「最初の一步」、書評「AJALT 教師の書棚から」学習者作品など、多彩な記事をご用意しています。ぜひご高覧の上ご意見・ご感想をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

☆★☆ 機関誌『AJALT』41号及びバックナンバーは当協会 HP  
よりご購入いただけます。(定価 800 円+消費税+送料) ☆★☆  
冊数には限りがありますので、お早めにお求めください。

---